

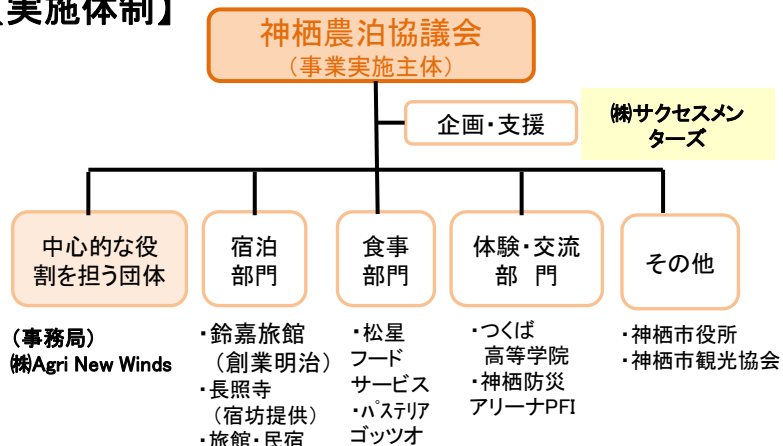
- 太陽光発電と農園を組み合わせたソーラーシェアリングを営む農家と連携し、発達障害を持つ児童・生徒を対象に持続可能性(SDGs)が体感できる営農体験を提供
- 都心から100kmという地の利を活かし、東国三社・水郷三都といった当地の旧所名跡観光や、先進的なスポーツ施設をアピールした「ワーケーション」の受け皿を目指す。



茨城県神栖市

【採択年度】
令和3年度
【事業実施期間】
令和3~4年度

【実施体制】



【取組内容】

- ✓本市には、神武天皇元年に初めて宮柱を建てたと伝えられる「東国三社」の一つ息栖神社や、「水郷三都」といった河川や湖沼を活かした景勝地などの旧所名跡あり。
- ✓上記を踏まえ、観光船や自転車での周遊などの「観光体験」や最新施設を活用する「スポーツ体験」や「宿坊体験」メニューの開発・提供を企画。



東国三社立地

＜地域の特徴＞

○都心から15分間隔で高速バスが運行され、平坦な地形と温暖な気候を活かしスポーツが盛んで鹿島アンラズホームタウンのひとつ



波崎でのサーフィン

【特徴的な取組】

- 事業実施主体中核法人Agri New Windsが中心となって、
 - ①発達障害を持つ児童・生徒に営農体験、
 - ②コロナ禍に対応するため「ワーケーション」の受け皿、
 - ③明治時代から続く老舗旅館や料理店と提携し、地元の豊かな野菜、果物や市内の波崎漁港で獲れる新鮮な魚介類を使った料理などを提供し、「農泊」推進による地域農水産事業者の所得向を目指します。



児童営農体験



AgriNewWinds農場



神栖市ランニング大会



神栖防災アリーナ全景

目標項目	現状 (R2)	途中 (R3)	目標 (R4)
売上高(万円)			
延べ宿泊者数			
食事メニュー数			
体験プログラム			